

# 兵庫県下の経済動向

平成22年9月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。

輸出はアジア向けを中心に増加し、生産も増加している。設備投資は、製造業の増加から下げ止まっている。個人消費は、耐久消費財に引き続き動きがみられるほか、その他の分野でも猛暑の影響から一部に動きがみられる。また、住宅投資は持ち直しの動きがみられている一方、公共投資は増勢が一服している。この間、雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きがみられている。

需要面の動きをみると、個人消費は百貨店売上高が、記録的な猛暑により、紫外線防止対策の商品や夏物セール品が好調だったものの、秋物衣料品が振るわなかったため、2か月ぶりに前年を下回った。乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車とも増加したことから、14か月連続で前年を上回った。家電販売は、エコポイント制度の効果などから薄型テレビの販売を中心に堅調となっている。

設備投資は、非製造業が引き続き減少計画となっているものの、製造業が増加計画となっていることから、増加に転じる計画となっている。

住宅投資は、持家が減少したものの、分譲、貸家が増加したことから、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事は、独立行政法人等や兵庫県などが増加したことから、2か月ぶりに前年を上回った。

貿易は、輸出が米国、アジア、EU向けが増加し、7か月連続で前年を上回った。また、輸入についても6か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、電気機械工業、一般機械工業、情報通信機械工業などの低下により4か月ぶりに低下した。

雇用関係では、有効求人倍率が前月比横ばいとなったほか、新規求人数は前年を上回った。また、所定外労働時間は前年を上回ったものの、常用労働者数と一人当たり名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数は前年と同件数となったものの、負債総額は前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

6月の兵庫DIは、先行指数14.3%、一致指数77.8%、遅行指数50.0%となった。

6月の兵庫CIは、先行指数92.0、一致指数92.3、遅行指数94.6となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月連続、遅行指数は3か月連続で50%を下回ったが、一致指数が77.8%で、好不況の判断の分かれ目となる50%を13か月連続で上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月連続、一致指数は13か月ぶりに前月差減となり、遅行指数は2か月連続で前月差増となった。

県統計課は「生産活動は活発で、県内景気は改善の方向にある」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

7月の県産工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は94.7、前月比3.6%低下。出荷指数は95.7、同0.2%低下。在庫指数は101.4、同0.1%上昇。在庫率は、112.7、同2.3%低下。生産指数は4か月ぶりに低下、出荷指数は2か月連続で低下した。また在庫指数は2か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が13.8%増で8か月連続の上昇、出荷も12.2%増で8か月連続の上昇となった。また在庫は0.3%減で17か月連続の低下となった。

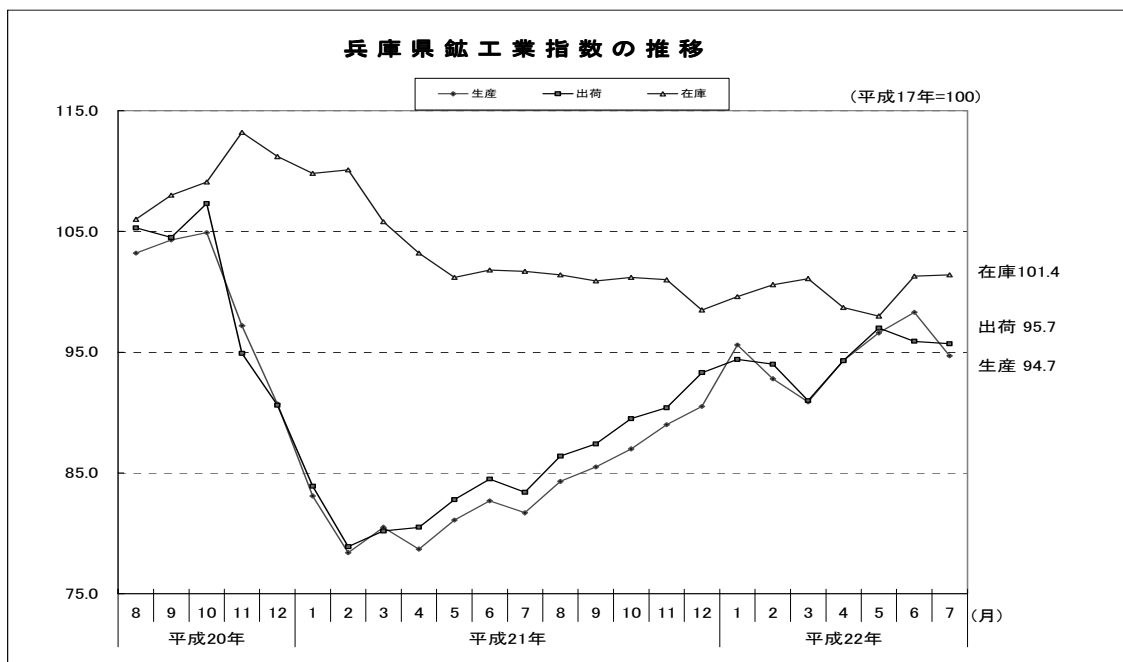
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が12.0%上昇したものの、電力変換装置等の「電気機械」が13.6%、蒸気タービン部品等の「一般機械」が12.9%、無線位置測定装置等の「情報通信機械」が7.1%、各々低下した。

県統計課は、「兵庫県の生産活動は、緩やかに回復しつつあるものの、一部には足踏みの動きも見られる」としている。

7月の兵庫県産工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	94.7	3.6	94.2	13.8
出 荷	95.7	0.2	95.5	12.2
在 庫	101.4	0.1	101.7	0.3
在 庫 率	112.7	2.3	113.1	25.0

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



7月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	96.6	5.1	上昇	鋳鉄管、鍛鋼品、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、普通鋼めっき鋼材(線類)
			低下	普通鋼鋼帯、鋼半製品、粗鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材
金属製品	81.8	1.0	上昇	ガス風呂がま、ガス湯沸器、ガス織温風暖房機、石油温水給湯暖房機
			低下	超硬チップ、鋼索、うす板ばね、線ばね
一般機械	90.8	12.9	上昇	反応用機器、集じん機器、トンネル掘進機、熱交換器
			低下	蒸気タービン部品、はん用内燃機関、一般用蒸気タービン、圧縮機
電気機械	104.9	13.6	上昇	リチウムイオン蓄電池、超音波応用装置、ハロゲン電球、HIDランプ
			低下	電力変換装置、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、開閉制御装置、一般用タービン発電機
情報通信 機械	86.9	7.1	上昇	陸上移動通信装置(携帯電話以外)、テレメータ・テレコントロール、カーナビゲーション、プリンタ
			低下	無線位置測定装置、パーソナルコンピュータ、レーダ装置、搬送相違
電子部品 デバイス	161.4	0.2	上昇	電界効果型トランジスタ、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコンダイオード、シリコントランジスタ
			低下	PDPモジュール、IGBT、スイッチング電源
輸送機械	83.2	12.0	上昇	船用ディーゼル機関、ショベルトラック、特装ボデー、シャシー・車体部品
			低下	旅客車、鋼船、駆動伝道・操縦装置部品、二輪自動車(125ml超)
化 学	102.3	3.8	上昇	医薬品、純ベンゼン、不飽和ポリエステル樹脂、酸化亜鉛
			低下	無水酢酸、塩化ビニル樹脂、複合肥料(化成肥料)、アクリル酸エステル
食 料 品	102.8	2.4	上昇	清酒、肉製品、冷凍調理食品、配合飼料
			低下	パン類、乳飲料、砂糖、塩

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた8月の県内百貨店売上高は160億98百万円、前年同月比2.0%の減少で2か月ぶりに前年を下回った。記録的な猛暑により、紫外線防止対策の商品や夏物セール品が好調だったが、秋物衣料品は振るわなかった。

神戸地区は2.0%減。大丸神戸店では、紳士服が前年水準を上回ったほか、婦人用の紫外線防止の手袋などは前年の約2倍の売れ行きとなった。そごう神戸店では食料品や食堂喫茶が好調で、暑いために家庭で揚げ物などの料理をせず、総菜を買う人が多かったという。

姫路地区は2ヵ月連続で下げ幅が縮小し、2.3%減。ヤマトヤシキでは日傘などの身の回り品が順調だった。山陽百貨店は7月に続き屋上ビアガーデンが盛況で、食堂喫茶が約34%増えた。日本百貨店協会は「猛暑効果があった一方、円高株安で先行きの不透明感から兵庫県内でも宝飾品など高額品の動きが鈍いようだ」としている。

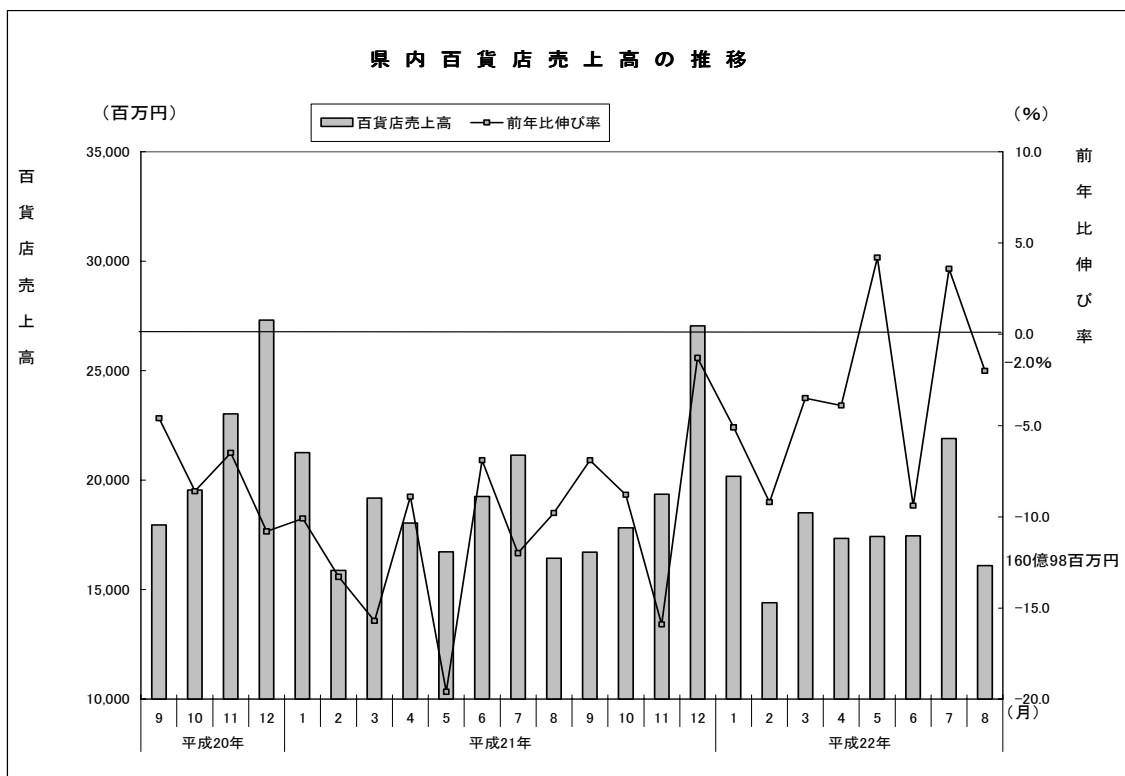
8月の県内百貨店売上高

品目	地区		合計
	神戸	姫路	
紳士服・洋品	548( 4.0)	133( 8.5)	682( 1.3)
婦人服・洋品	3,467( 5.7)	536( 1.3)	4,003( 5.2)
子供服・洋品	388( 6.2)	63( 6.8)	452( 6.3)
身の回り品	1,416( 6.3)	278( 13.2)	1,695( 3.6)
家庭用品	642( 6.7)	116( 18.6)	759( 1.9)
食料品	4,390( 0.9)	846( 1.4)	5,236( 0.3)
雑貨	1,803( 2.5)	391( 2.8)	2,195( 1.5)
その他	761( 5.6)	311( 6.4)	1,072( 5.9)
計	13,419( 2.0)	2,678( 2.3)	16,098( 2.0)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内8月の乗用車新車登録台数は14,456台、前年同月比45.9%増と14か月連続で前年同月の実績を上回った。ハイブリッド車など環境車の販売が好調。

8月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,041台(前年同月比44.9%増)、小型乗用車は5,950台(同59.4%増)、軽乗用車は3,465台(同28.6%増)、乗用車合計で14,456台(同45.9%増)となった。

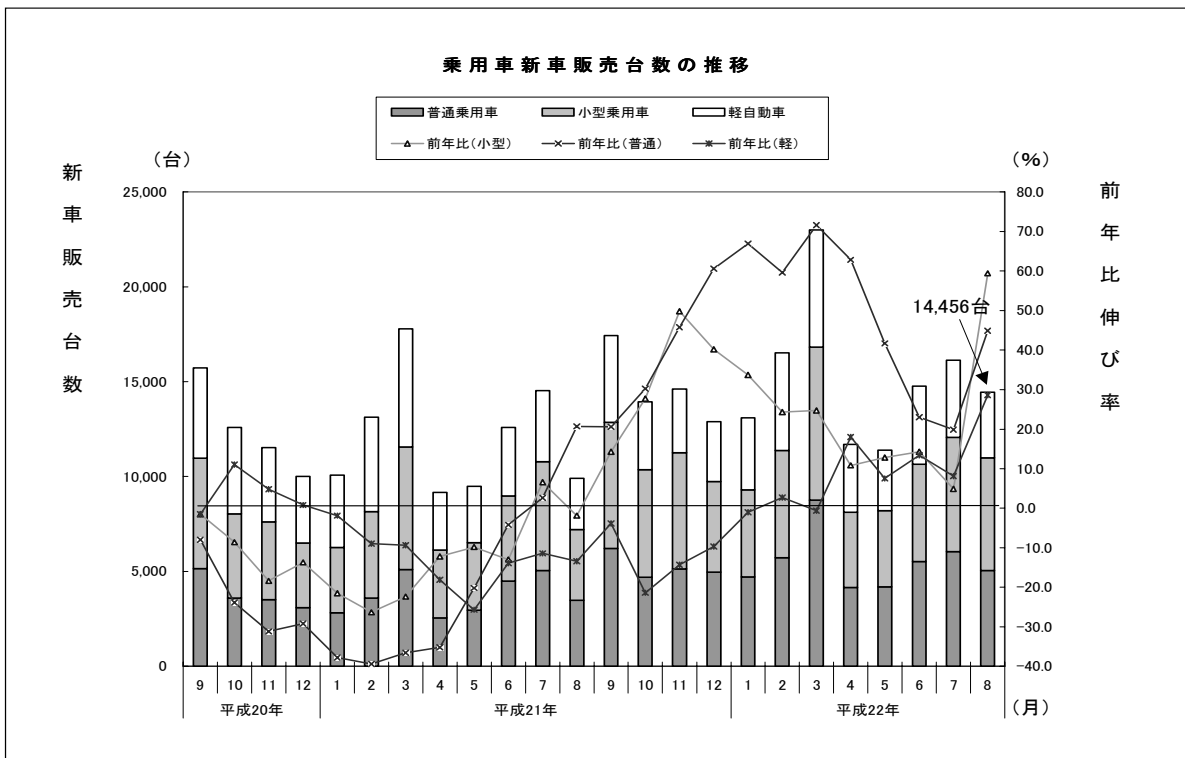
また貨物車等では、普通貨物車は190台(前年同月比47.3%増)、小型貨物車は400台(同8.4%増)、軽貨物車は1,124台(同24.9%増)、バスは52台(同40.5%増)となった。

### 8月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,041	44.9	119,118	45.0
小型乗用車	5,950	59.4	148,659	52.3
軽乗用車	3,465	28.6	101,434	21.1
<b>乗用車合計</b>	<b>14,456</b>	<b>45.9</b>	<b>369,211</b>	<b>40.1</b>
普通貨物車	190	47.3	8,399	35.6
小型貨物車	400	8.4	13,341	16.2
軽貨物車	1,124	24.9	32,763	23.5
<b>貨物車合計</b>	<b>1,714</b>	<b>22.6</b>	<b>54,503</b>	<b>23.3</b>
バス	52	40.5	1,272	54.0
<b>登録車総計</b>	<b>16,222</b>	<b>43.0</b>	<b>424,986</b>	<b>37.7</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が9月8日に発表した機械受注統計によると、平成22年7月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、22年6月前月比9.2%増の後、7月は同5.7%増の2兆104億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、6月前月比1.6%増の後、7月は同8.8%増の7,663億円となった。

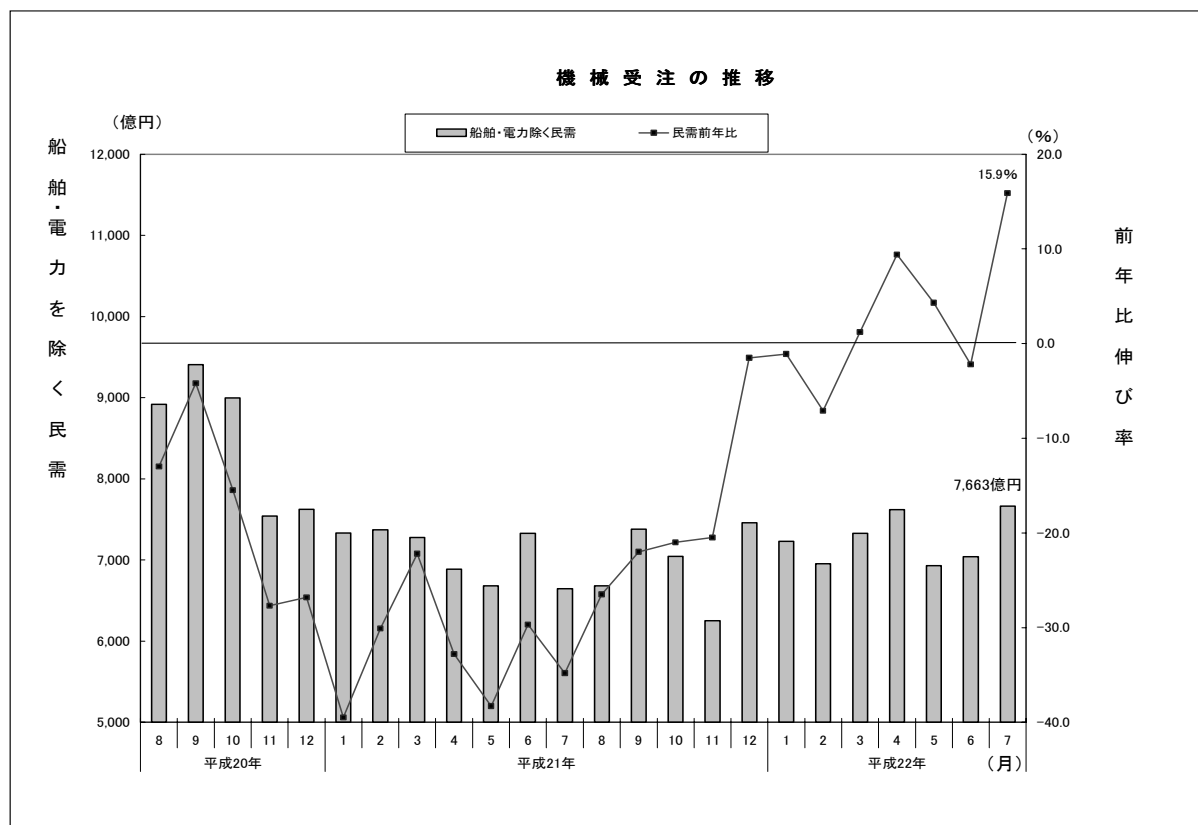
内訳をみると、製造業が同10.1%増の3,101億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同8.1%増の4,532億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、繊維・衣服製造業(22.3%増)、化学工業(17.1%増)、食品製造業(12.3%増)、情報通信機械(11.8%増)、一般機械(10.7%増)等の11業種で、造船業(20.2%減)、非鉄金属(19.0%減)、鉄鋼業(18.9%減)、窯業・土石製品(9.7%減)等の6業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、金融・保険業(28.3%増)、不動産業(28.2%増)、卸売・小売業(24.6%増)等の9業種で、鉱業(61.7%減)、リース業(18.5%減)、情報サービス業(12.7%減)の3業種は減少となった。

兵庫県下においては、2010年度設備投資計画は、非製造業が引続き減少計画となっているものの、製造業が増加計画となっていることから、増加に転じる計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果。2010年6月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+6.5%(製造業+9.5%、非製造業-2.0%)





機械受注統計（平成22年7月分）

（単位：億円、％）

	21年 7～9月 実績	10～12月 実績	22年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 見通し	22年 4月 実績	5月 実績	6月 実績	7月 実績
受注総額	49,456 ( 9.0) [-30.2]	53,425 ( 8.0) [-5.8]	58,247 ( 9.0) [ 17.4]	55,988 (-3.9) [ 23.7]	63,844 (14.0) [ 27.5]	19,534 (-2.2) [ 29.4]	17,428 (-10.8) [ 17.2]	19,027 ( 9.2) [ 24.2]	20,104 ( 5.7) [ 23.4]
民需	24,937 (-2.4) [-23.2]	25,095 ( 0.6) [-10.1]	25,854 ( 3.0) [ 0.2]	24,955 (-3.5) [-2.0]	26,767 ( 7.3) [ 8.0]	8,907 ( 0.6) [ 8.3]	7,625 (-14.4) [-16.0]	8,423 (10.5) [ 2.6]	9,070 ( 7.7) [ 15.9]
” (Ex 船・電)	20,671 (-0.7) [-27.3]	20,904 ( 1.1) [-14.0]	21,514 ( 2.9) [-1.8]	21,589 ( 0.3) [ 3.3]	21,759 ( 0.8) [ 6.2]	7,619 ( 4.0) [ 9.4]	6,929 (-9.1) [ 4.3]	7,040 ( 1.6) [-2.2]	7,663 ( 8.8) [ 15.9]
製造業	6,844 (-6.6) [-46.1]	7,994 (16.8) [-17.3]	9,129 (14.2) [ 29.2]	8,342 (-8.6) [ 13.2]	8,475 (1.6) [ 24.8]	2,963 (-5.5) [ 27.0]	2,562 (-13.5) [ 9.3]	2,816 ( 9.9) [ 6.9]	3,101 (10.1) [ 39.8]
非製造業 (Ex 船・電)	14,063 ( 4.5) [-11.8]	12,956 (-7.9) [-10.8]	12,471 (-3.7) [-15.0]	13,192 ( 5.8) [-2.4]	13,113 (-0.6) [-4.1]	4,640 ( 5.3) [ 0.8]	4,360 (-6.0) [ 1.5]	4,192 (-3.9) [-7.7]	4,532 ( 8.1) [ 3.5]
官公需	8,048 ( 9.5) [ 20.5]	6,683 (-17.0) [-0.8]	6,861 ( 2.7) [-1.9]	6,845 (-0.2) [-4.8]	7,593 (10.9) [-1.6]	2,576 (19.1) [ 1.3]	1,886 (-26.8) [-19.4]	2,383 (26.3) [-1.6]	2,351 (-1.3) [-19.2]
外需	15,502 (33.5) [-46.8]	19,635 (26.7) [-0.9]	22,275 (13.4) [ 72.2]	22,806 (2.4) [ 94.2]	27,871 (22.2) [ 73.1]	7,405 (-3.7) [ 92.5]	7,608 ( 2.7) [129.5]	7,792 ( 2.4) [ 74.7]	7,995 ( 2.6) [ 50.2]
代理店	2,004 (10.3) [-32.4]	2,183 ( 9.0) [-13.0]	2,356 ( 7.9) [ 12.6]	2,408 ( 2.2) [ 32.4]	2,409 ( 0.0) [ 20.2]	885 (11.9) [ 37.8]	727 (-17.9) [ 31.3]	796 ( 9.5) [ 28.7]	781 (-1.8) [ 21.0]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内7月の新設住宅着工戸数は、総数で3,293戸(前年同月比25.2%増)となり、持家が減少したものの、分譲住宅、貸家が増加し、全体では3か月ぶりに前年を上回った。尚、前月比では867戸の増加となった。

### 7月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	946	3.3	27,181	4.4
・分譲住宅	1,117	69.2	15,201	27.3
貸家系・貸家	1,217	22.7	25,673	5.9
・給与住宅	13	1,200.0	730	2.8
<b>総数</b>	<b>3,293</b>	<b>25.2</b>	<b>68,785</b>	<b>4.3</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

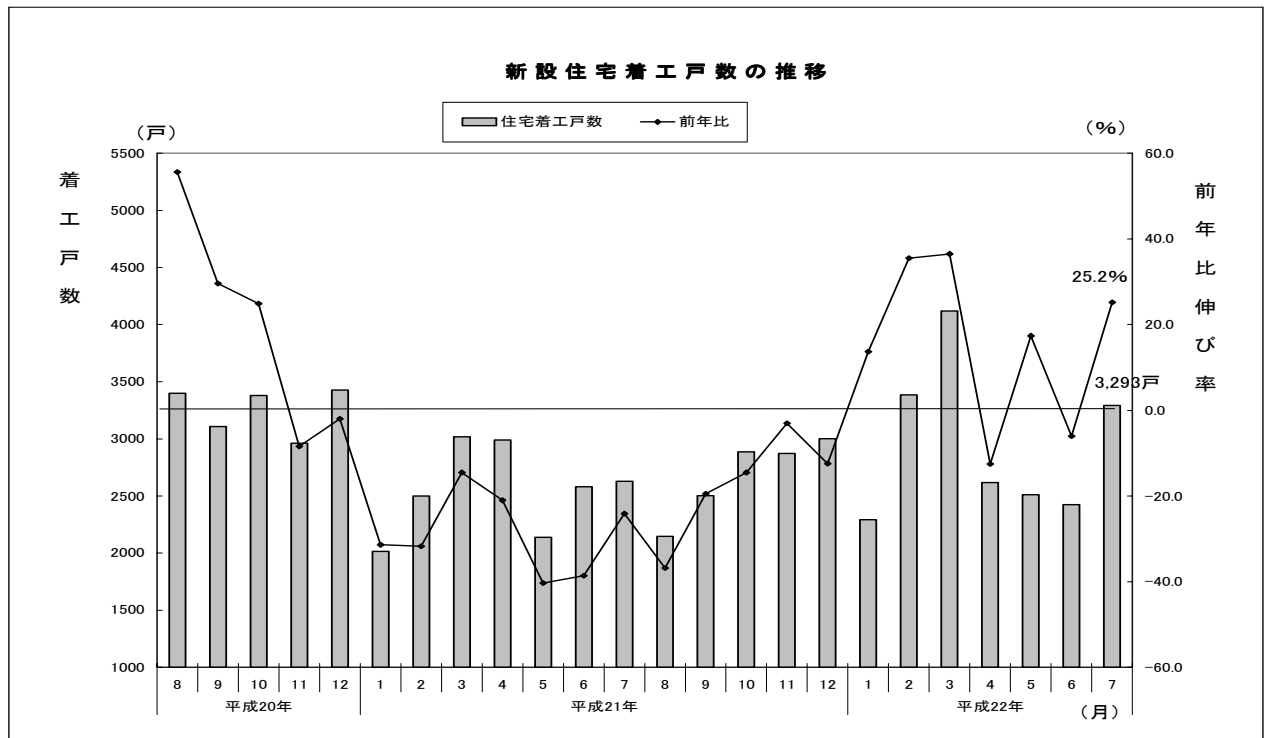
### 7月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,020	566	507	389	74	566	93	28	26	24	3,293
前月比	+439	+151	+204	+24	-82	+250	-18	-40	-16	-45	+867

資料：兵庫県住宅計画課

平成22年4月～6月の新設住宅着工累計は、総数で10,848戸、前年同期比505戸の増加となった。利用関係別では「持家」が3,654戸(前年同期比4.1%増)、「分譲住宅」が3,020戸(同11.3%増)、「貸家」が3,932戸(同5.6%増)、「給与住宅」が242戸(同38.7%減)となった。



## 【公共工事】

8月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は468件で前年同月比5.6%の減少、請負金額は208億35百万円で同2.0%の増加となり、金額ベースでは前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」が前年同月比36.2%、「独立行政法人等」同34.2%の減少となったものの、「国」同91.3%、「神戸市」同43.2%、「その他の団体」同18.1%、「神戸市を除く市町」同14.9%の増加となり、前年同月を上回った。

地域別(金額ベース)では、西播磨(同81.4%増) 阪神南(同39.8%増) 神戸市(同25.0%増)等で増加となったが、中播磨(同44.3%減) 阪神北(同37.8%減) 東播磨(同36.1%減)等では減少となった。

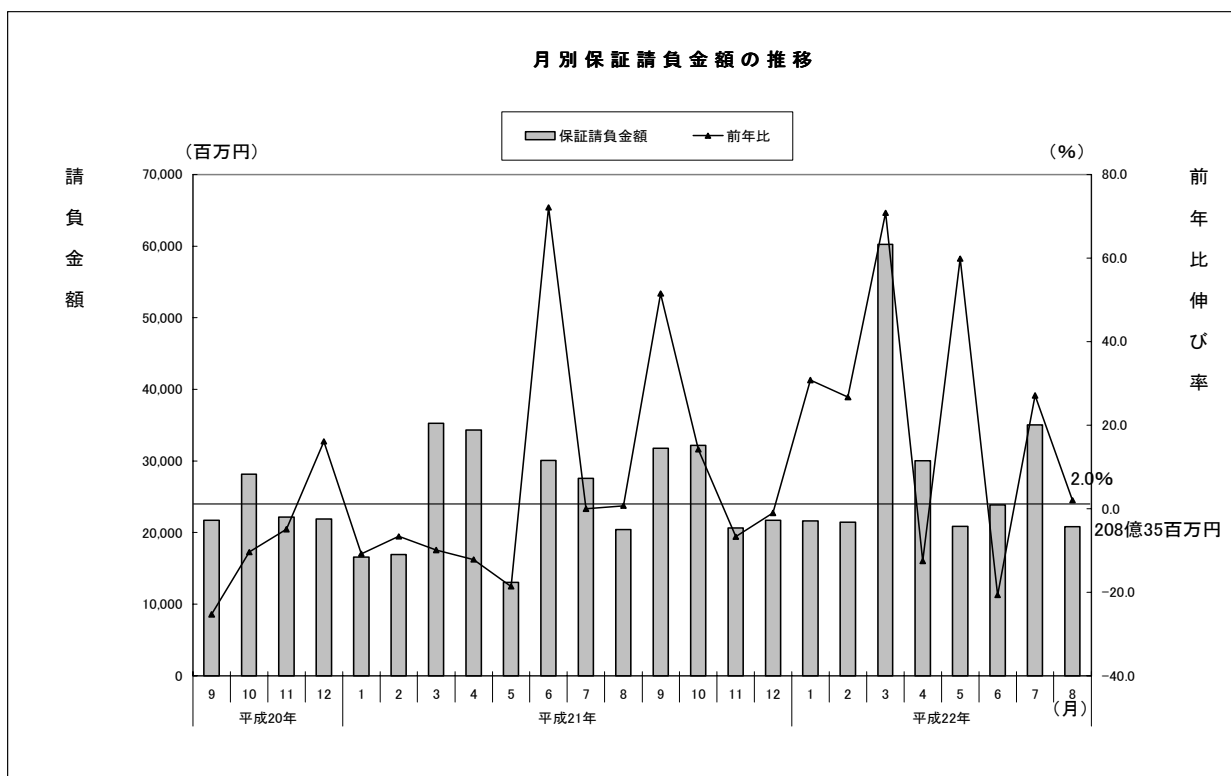
請負金額を平成22年度(22年4月~8)の累計でみると、1,306億22百万円となり、前年同期比4.1%の増加となった。

### 8月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	39( 34.5)	3,418( 91.3)	175号西脇バイパス西脇トンネル工事
独立行政法人等	16( 15.8)	1,338( 34.2)	阪神高速神戸2号線南伸部トンネル防災設備設置工事
兵庫県	164( 4.1)	4,617( 36.2)	
神戸市	42( 33.3)	3,227( 43.2)	神戸空港島地盤改良工事
神戸市を除く市町	183( 7.1)	6,304( 14.9)	
その他の団体	24( 41.2)	1,928( 18.1)	
合計	468( 5.6)	20,835( 2.0)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成22年7月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,834億円、前年同月比22.9%の増加で、総額ベース7か月連続の増加となった。輸出は、通信機などが減少したものの、船舶、建設用・鉱山用機械などが増加した。一方輸入は、衣類及び同付属品などが減少したものの、非鉄金属、音響・映像機器などが増加した。

輸出は4,774億円(前年同月比32.4%増加)と7か月連続で前年を上回った。

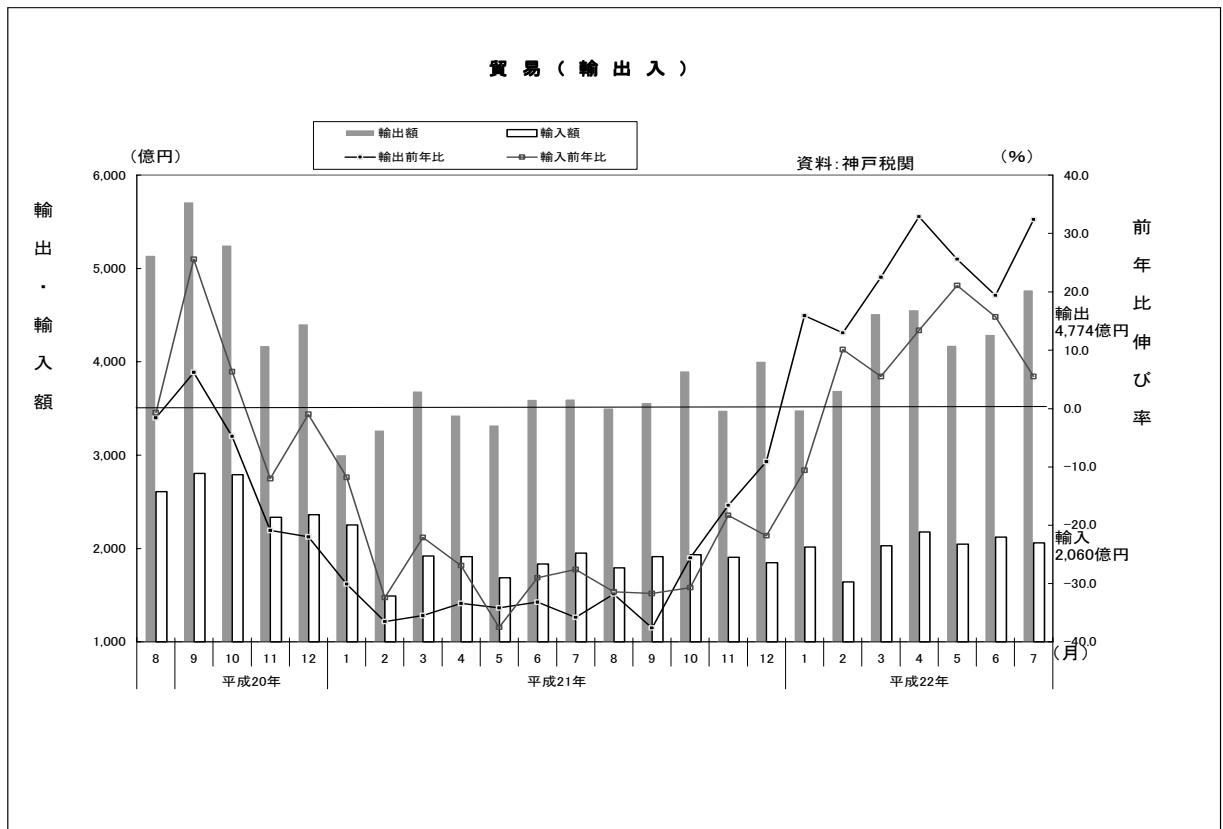
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(同5.8%増、2か月ぶりにプラス)、原動機(同60.1%増、2か月ぶりにプラス)、プラスチック(同15.8%増、9か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同2.2倍、7か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同36.0%増、8か月連続プラス)、中国(同37.1%増、8か月連続プラス)、米国(同37.0%増、7か月連続プラス)、EU(同13.6%増、2か月ぶりにプラス)向けが増加となった。

輸入は2,060億円(前年同月比5.5%増加)と6か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(同20.7%減、3か月ぶりにマイナス)が減少したものの、たばこ(同17.4%増、3か月ぶりにプラス)、非鉄金属(同91.6%増、6か月連続プラス)、有機化合物(同27.2%増、6か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同6.1%増、6か月連続プラス)、米国(同17.4%増、5か月連続プラス)向けが増加、中国(同2.3%減、4か月ぶりにマイナス)、EU(同1.3%減、2か月連続マイナス)向けが減少となった。



## 【物 価】『消費者物価』

8月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.4(平成17年=100)となり、前月比は0.5%上昇し、前年同月比は0.3%下落した。生鮮食品を除く総合指数は98.9となり、前月比は0.2%上昇し、前年同月比は0.7%下落した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.5となり、前月比は0.3%上昇し、前年同月比は0.6%下落した。

前月からの動きを見ると、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が1.8%、理美容用品などの値下がりにより「諸雑貨」が0.2%下落した。しかしながら、果物などの値上がりにより「食料」が1.3%、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が2.3%上昇した結果、総合指数では0.5%上昇した。

### 8月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.4	102.7	99.0	103.3	88.5	91.5	98.4	99.3	98.0	98.0	99.7	98.9	97.5
前月比	0.5	1.3	0.0	0.6	0.1	-1.8	-0.1	0.2	0.0	2.3	-0.2	0.2	0.3
前年同月比	-0.3	0.0	0.3	1.6	-5.1	-4.0	0.2	0.8	-3.9	0.1	0.2	-0.7	-0.6

(注)平成17年=100

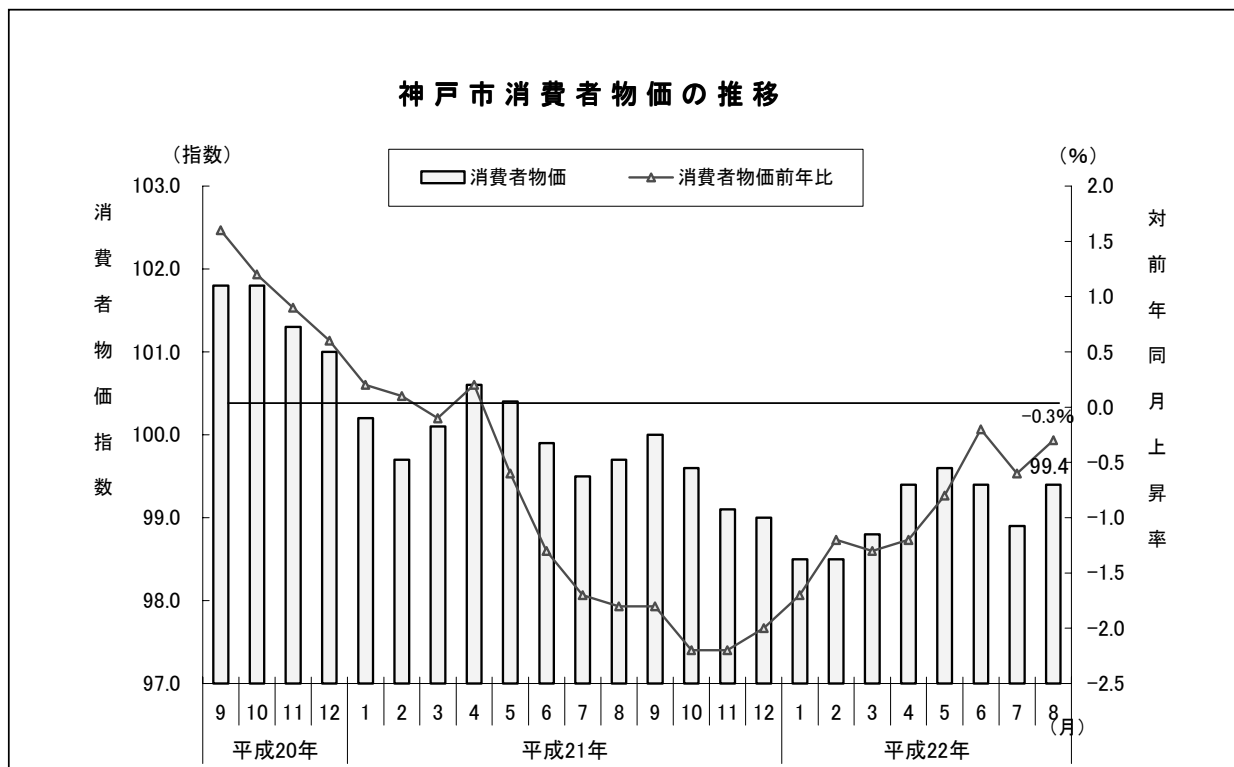
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

- 果物 (+ 11.7%)・・・すいか、バナナ
- 教養娯楽サービス (+ 2.9%)・・・外国パック旅行、宿泊料

#### 対前月比値下がりした主な品目

- 衣料 ( 2.3%)・・・婦人スーツ(春夏物)、スカート(春夏物)
- 理美容用品 ( 0.8%)・・・ヘアカラー、シャンプー



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が9月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2010年8月の実績は次のとおり。

### 8月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.8	0.0	0.0
輸 出 物 価	84.1	1.4	6.8
輸 入 物 価	103.5	2.0	1.8

資料：日本銀行調査統計局

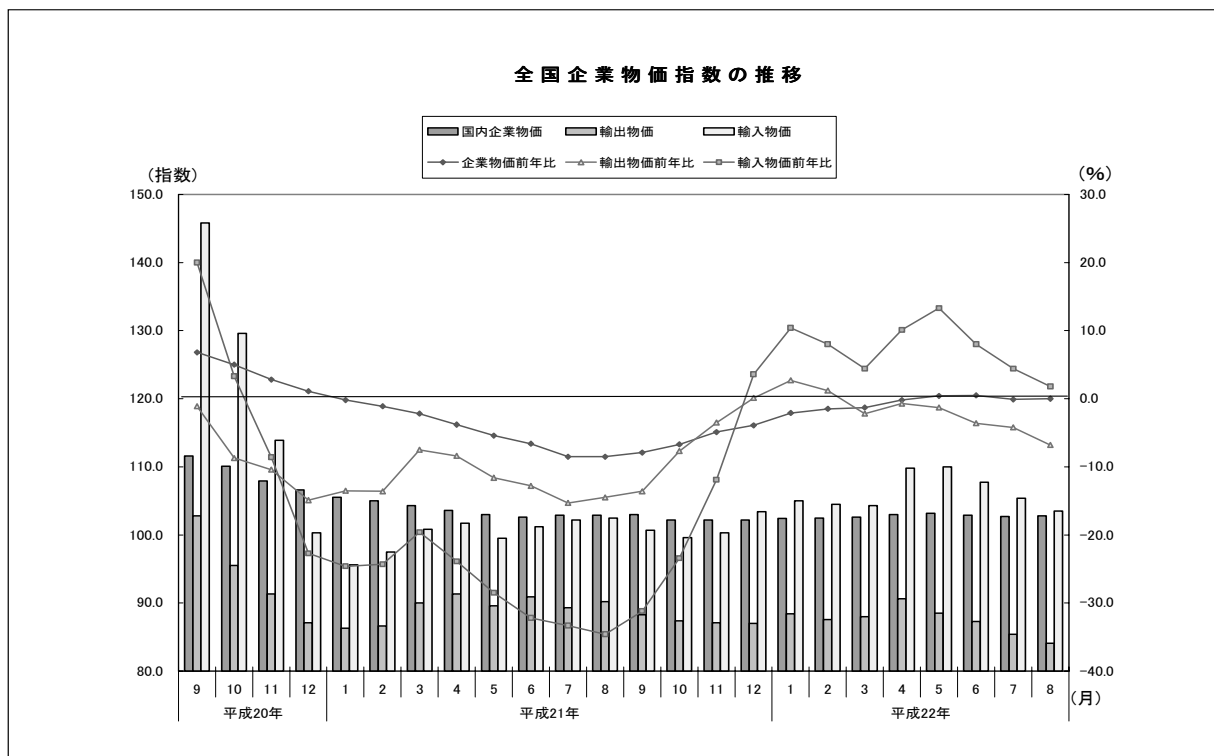
国内企業物価は、電力・都市ガス・水道(前月比+1.3% <大口都市ガス、特別高圧電力など>)、非鉄金属(同+1.6% <銅地金、プラスチック被覆銅線など>)等が上昇、石油・石炭製品(前月比-0.8% <液化石油ガス、A重油など>)、化学製品(同-0.2% <エチレン、スチレンモノマーなど>)等が下落し、全体では前月比同水準となった。

前年同月比では2か月連続で前年同月比横ばいとなった。

新興国の需要増加などを背景に石油製品や非鉄金属が値上がりした一方で、情報通信機器や電子部品の価格は下落した。

輸出物価は、金属・同製品(前月比-1.5% <銅地金など>)、化学製品(同-1.2% <ポリエチレン、ポリプロピレンなど>)、電気、電子機器(同-1.5% <ビデオカメラ、デジタルカメラなど>)等が下落し、円ベースでは前月比1.4%の下落(前年同月比-6.8%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比-3.6% <原油、液化石油ガスなど>)、電気・電子機器(同-2.1% <電子計算機本体、ディスプレイデバイスなど>)、食料品・飼料(-0.1% <とうもろこし、小麦など>)等が下落し、円ベースでは前月比2.0%の下落(前年同月比+1.8%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内7月の新規求人数(全数)は、22,836人(前年同月比5.9%増、前月比3.4%増)で、3か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は53,803人(前年同月比9.7%増、前月比1.6%増)で3か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比3.2%増で5か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.6%増で3か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同29.1%増で11か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比2.8%増)、製造業(同20.3%増)、運輸業、郵便業(同53.7%増)、卸売業、小売業(同9.4%増)、宿泊業、飲食サービス業(同12.2%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同13.9%増)、教育、学習支援業(同8.7%増)、医療、福祉(同2.8%増)、サービス業(同11.1%増)は前年を上回ったが、情報通信業(同10.4%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同3.2%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

7月の新規求職申込件数(全数)は、24,476件(前年同月比8.6%減、前月比2.0%増)で、2か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は116,471人(前年同月比5.5%減、前月比3.9%減)で2か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比9.6%減で4か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同7.2%減で24か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比19.5%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比0.1%増で5か月連続して、自営・他は同1.0%増で2か月連続して、無業者は同16.6%増で14か月連続して前年を上回ったが、事業主都合離職者は同22.5%減で7か月連続して、自己都合離職者は同9.0%減で2か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、31,463人(前年同月比22.0%減)で、5か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

7月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.87倍で前月を下回り、有効求人倍率についても0.50倍で前月と同水準となった。

### (4) 失業者の状況

7月の全国の完全失業率(季節調整値)は5.2%で前月より0.1ポイント低下し、完全失業者数(原数値)は331万人(前年同月差28万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は6.0%(前年同月差0.3ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は61万人(前年同月差3万人減)となった。

### 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
22年7月	22,836	1,605	2,864	216	1,351	3,747	200	355	734	1,806	1,056	5,420	2,723
前年同月比	5.9	2.8	20.3	-10.4	53.7	9.4	-11.5	-5.3	-3.2	12.2	13.9	2.8	11.1

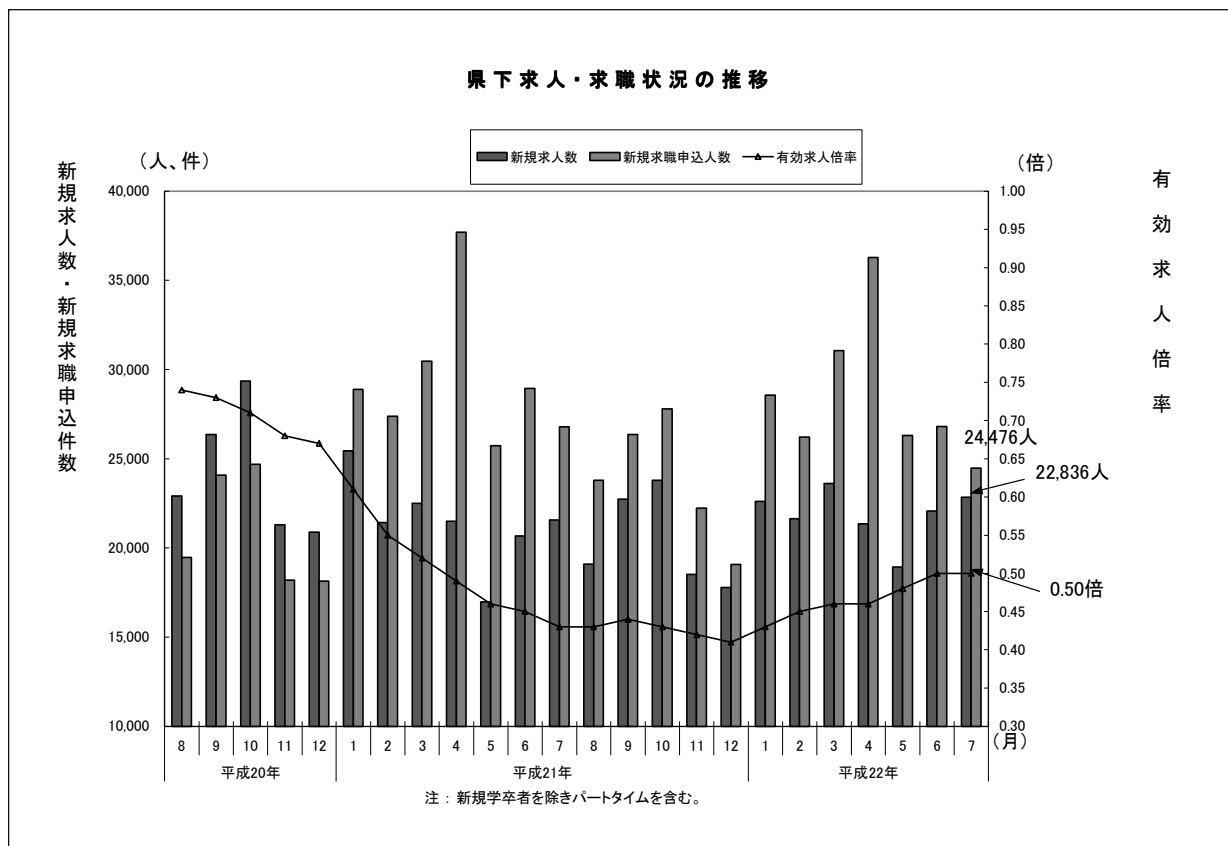
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

### 雇用・賃金の推移

項目・年月	09/7-9	09/10-12	10/1-3	10/4-6	10/05	10/06	10/07
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.43	0.42	0.45	0.48	0.48	0.50	0.50
新規求人数 (原数値、前年比%)	15.7	16.0	2.2	5.4	11.6	6.8	5.9
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	10.2	6.0	5.6	13.2	16.0	12.3	16.1
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.5	0.6	0.5	1.1	1.1	1.5	1.0
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	5.4	5.0	0.7	0.7	1.4	0.1	0.0

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部





## 【信用保証】

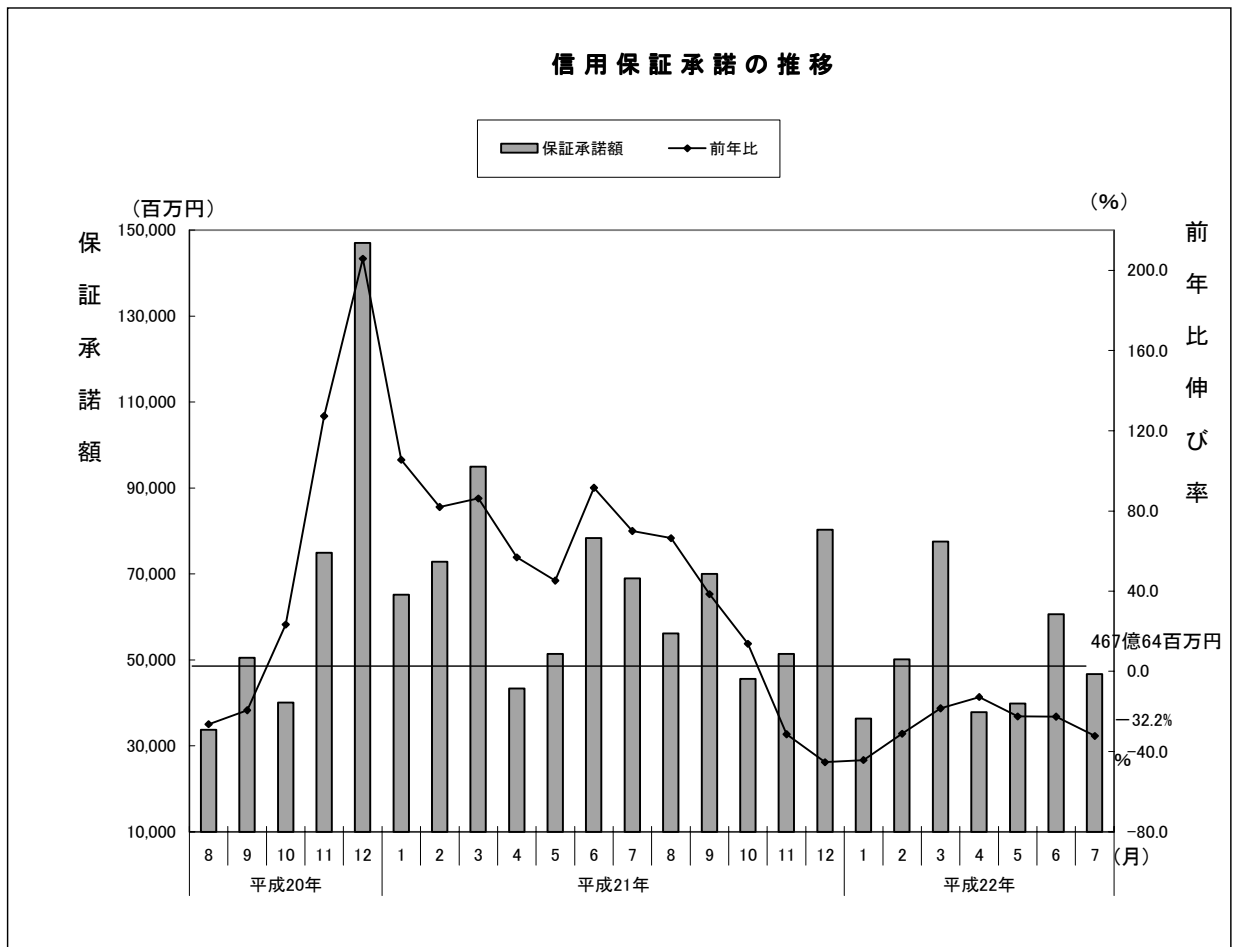
兵庫県信用保証協会による7月の保証承諾実績は、件数で2,712件(前年同月比29.2%減)、金額は467億64百万円(同32.2%減)となり、9か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が急増していた反動で、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」2,499百万円(前年同月比24.7%減)、「小売業」5,711百万円(同25.1%減)、「建設業」12,062百万円(同26.5%減)、「卸売業」9,565百万円(同27.6%減)、「不動産業」1,771百万円(同32.6%減)、「サービス業」5,412百万円(同33.9%減)、「製造業」8,671百万円(同43.7%減)、「飲食店」1,012百万円(同49.8%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、301件(前年同月比37.7%減)、38億12百万円(同33.4%減)となった。

7月末の保証債務残高は、119,155件(前年同月比2.3%減)、1兆4,722億95百万円(2.7%増)となった。



## 【金 融】

7月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位:億円、前年同月比増減・%)。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	136,269	1.8	57,920	0.5
地方銀行	23,110	0.4	19,046	0.2
第二地方銀行	30,055	3.2	19,625	4.3
信用金庫	77,208	2.0	38,514	1.9
その他	16,053	2.1	16,604	0.6
計	282,695	1.9	151,709	1.2

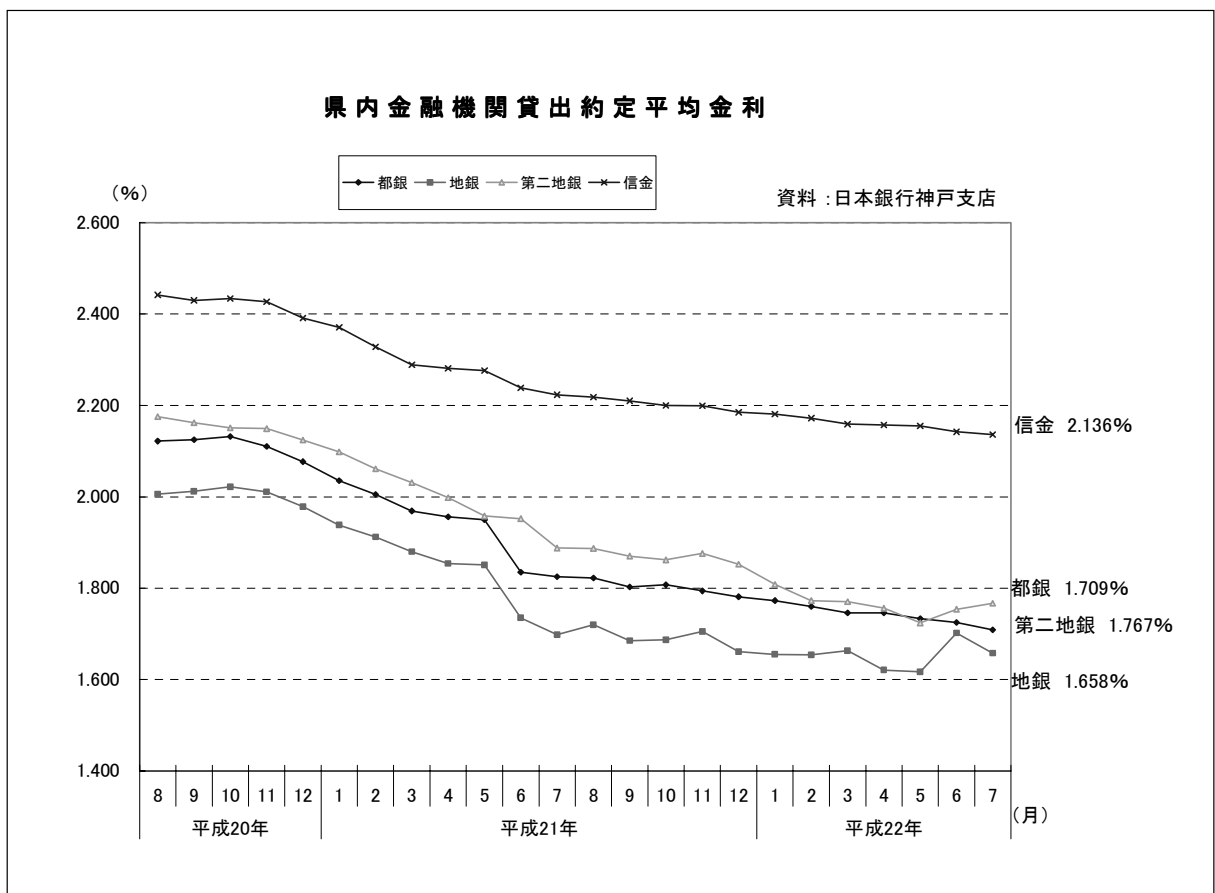
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

7月の預金は、引続き前年を上回って推移している。

7月の貸出は、前年を下回って推移している。

7月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、大口の低利貸出の増加により、低下した(7月末水準 1.861%、前月比 0.011%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 8 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 53 件で前年同月比 18.5%減少、負債総額は 87 億 36 百万円で同 26.5%の減少となった。倒産件数は前月比 2 件減少、前年同月比では 12 件減少となり、前年の月間平均件数 62.6 件より 9.6 件の減少であった。負債額 1 億円未満の小口倒産は 44 件で全体の 83.02%を占めている。

原因別(件数)では、販売不振が 39 件(全体の 73.6%)と前月より 4 件の減少。2 番目は放漫経営 4 件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は 41 件と圧倒的に高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス業が 16 件(全体の 30.2%)と最も多く、2 番目は建設業 13 件、金属・機械・電気業 10 件と続いている。

兵庫県下の 8 月の企業倒産件数は 53 件で、前月比 2 件の減少となり、2 月の 43 件、1 月の 46 件に次ぐ少ない規模となった。

日本銀行神戸支店が 9 月 3 日に発表した「管内金融経済概況」によると、「管内の景気は、厳しさを残しつつも、着実に持ち直している」と 7 月に上方修正した内容と 3 ヶ月連続の同判断であった。

倒産件数は 2 か月連続して減少し、負債総額 10 億円以上の大型倒産の発生も少ないが、ただ、形態別では個人企業の倒産が再びトップとなり、負債総額 1 億円未満の小口倒産が当月も多発した。「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が 41 件(構成比 77.4%)と依然として高い水準にあり、「不動産・サービス他業」「建設業」を中心に多様な業種において倒産が発生した。これら諸点を踏まえると、まだまだ「本格的な景気回復」とは言い難く、その恩恵は上位層にのみ留まっており、小規模・零細企業までには浸透してきてはいないのが現状、と言える。人間の体に例えると、一番弱いところにシワ寄せが集中しており、これに対して「応急処置」的な対策にのみ留まっている。急激な為替変動や株価低迷など外部環境は激しく変化し続けており、さらなる抜本的な対策が求められるところ。小規模・零細企業の置かれている環境は未だ厳しく、この部分への注視が引き続き必要であると共に、今後は息切れ懸念のある中規模以上の企業動向への留意も肝要となってくると見られる。

### 8 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	3	1	3	1	金属・機械・電気	10	7	3	6	4
過小資本	3	1	2	7	-4	化学・薬品	1	0	1	0	1
連鎖倒産	3	3	0	5	-2	ゴム・皮革・ケミカル	0	2	-2	4	-4
赤字累積	2	1	1	1	1	食品	5	4	1	10	-5
販売不振	39	43	-4	48	-9	建設	13	18	-5	22	-9
売掛金回収難	0	1	-1	0	0	不動産・サービス	16	12	4	8	8
その他	2	3	-1	1	1	運輸・通信他	8	12	-4	15	-7
合計	53	55	-2	65	-12	合計	53	55	-2	65	-12

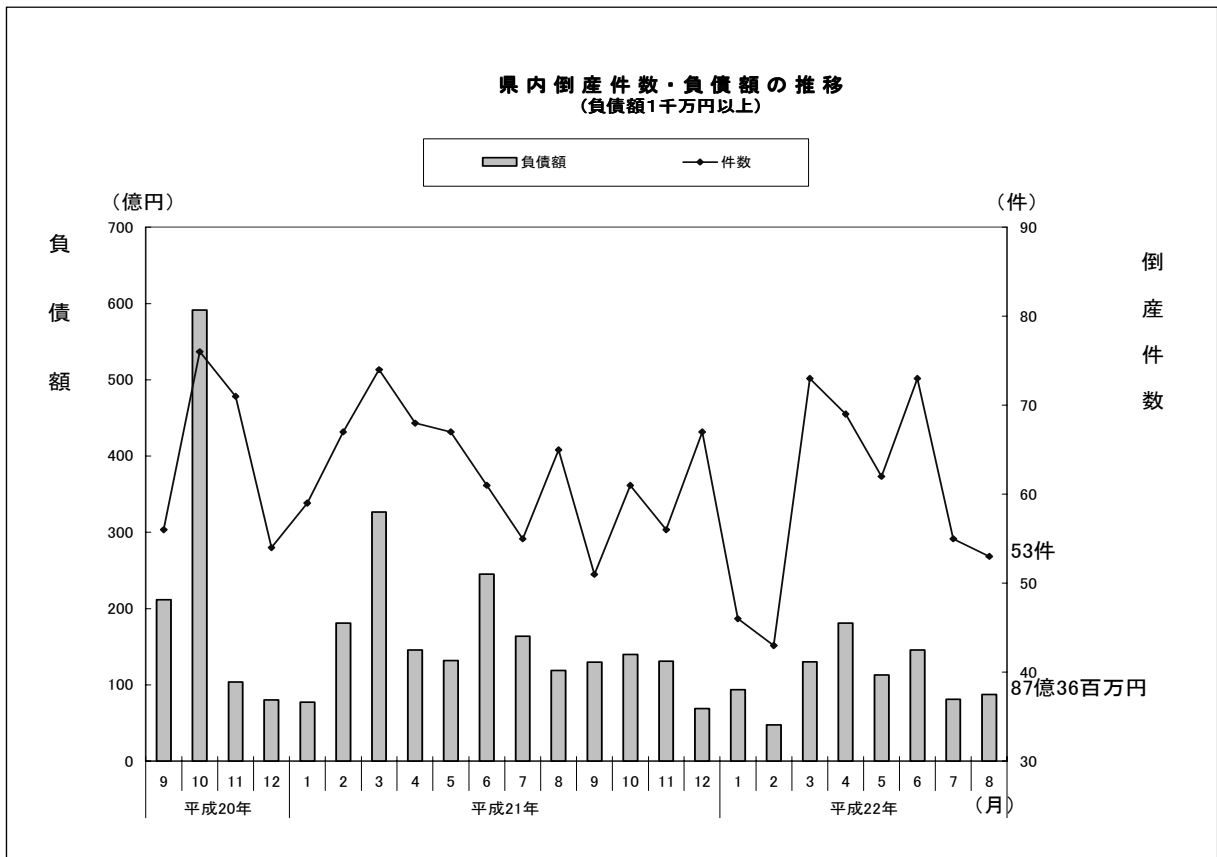
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
17年 平均	54.1	17.5	15.9	8.5	8.8	1.8	0.8	0.8
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 1月	46	11	17	8	6	2	0	2
2月	43	17	12	4	8	0	1	1
3月	73	24	25	11	6	3	0	4
4月	69	21	28	11	8	0	0	1
5月	62	22	18	14	3	2	1	2
6月	73	26	25	14	4	1	1	2
7月	55	12	21	10	8	1	2	1
8月	53	20	14	6	9	1	2	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



## 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
21年 1月	83.1	-9.4	76.0	-10.0	166	-10.8	1.9	2,015	-31.4	-18.7
2月	78.4	-6.2	68.7	-9.4	169	-6.6	-2.8	2,500	-31.7	-24.9
3月	80.5	2.0	70.6	1.6	352	-9.9	15.3	3,019	-14.5	-20.7
4月	78.7	0.4	74.3	5.2	343	-12.2	20.5	2,991	-21.0	-32.4
5月	79.9	1.4	79.2	5.9	130	-18.6	2.5	2,139	-40.3	-30.8
6月	84.1	5.5	81.0	2.4	301	72.2	12.7	2,582	-38.6	-32.4
7月	81.9	2.5	82.4	1.9	276	0.0	2.5	2,631	-24.1	-32.1
8月	83.4	1.9	84.1	1.8	204	0.7	8.7	2,149	-36.8	-38.3
9月	86.8	3.2	85.1	1.4	318	51.5	22.1	2,502	-19.5	-37.0
10月	88.4	2.1	86.1	0.5	322	14.2	8.3	2,888	-14.5	-27.1
11月	91.1	3.3	88.3	2.6	207	-6.7	0.0	2,873	-3.0	-19.1
12月	90.9	0.9	89.9	2.2	217	-1.0	10.3	3,001	-12.4	-15.7
22年 1月	92.5	1.7	91.9	2.5	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	91.2	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.0	0.3	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	95.9	-0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	r 98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	p 94.7	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月					208	2.0	-8.4			
9月										
10月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
21年 1月	10,082	-21.3	-20.0	213	-10.1	-9.2	3,009	-30.1	2,256	-11.6
2月	13,129	-25.3	-24.4	159	-13.3	-11.4	3,269	-36.5	1,491	-32.4
3月	17,786	-23.5	-24.5	192	-15.7	-12.9	3,689	-35.5	1,923	-22.0
4月	9,162	-21.8	-22.8	180	-8.9	-11.3	3,433	-33.4	1,918	-26.8
5月	9,482	-18.6	-17.4	167	-19.6	-12.7	3,326	-34.2	1,689	-37.4
6月	12,600	-10.3	-12.2	193	-6.9	-8.9	3,599	-33.2	1,834	-29.0
7月	14,538	0.0	-2.8	212	-12.0	-11.8	3,606	-35.8	1,953	-26.6
8月	9,906	1.1	3.2	164	-9.8	-8.9	3,509	-31.8	1,793	-31.3
9月	17,427	10.8	4.2	167	-6.9	-7.8	3,566	-37.6	1,916	-31.7
10月	13,934	10.6	7.8	178	-8.8	-10.6	3,908	-25.6	1,936	-30.6
11月	14,618	26.8	24.7	194	-15.9	-11.7	3,483	-16.6	1,909	-18.2
12月	12,899	29.1	27.3	271	-1.3	-5.1	4,008	-9.1	1,850	-21.8
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,175	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.7	4,179	2.6	2,047	21.1
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	r 4,296	19.4	r 2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-7.4	p 4,774	32.4	p 2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	160	-2.0	-3.1				
9月										
10月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業	前年比	指数	前年比	神戸市		全国	
							指数	前年比	指数	前年比
	(季調済)	(季調済)	(千人)	%	(12年=100)	%		%		%
21年 1月	0.61	0.65	1,003	5.2	99.3	-3.2	100.2	0.2	100.7	0.0
2月	0.55	0.58	1,003	5.6	99.7	-5.2	99.7	0.1	100.4	-0.1
3月	0.52	0.53	996	4.8	98.0	-6.1	100.1	-0.1	100.7	-0.3
4月	0.49	0.48	1,009	4.3	98.3	-5.5	100.6	0.2	100.8	-0.1
5月	0.46	0.46	1,014	4.8	96.8	-4.9	100.4	-0.6	100.6	-1.1
6月	0.46	0.45	1,012	4.8	97.4	-4.9	99.9	-1.3	100.4	-1.8
7月	0.43	0.43	1,008	4.3	97.5	-5.0	99.5	-1.7	100.1	-0.3
8月	0.43	0.42	1,007	4.2	97.1	-4.1	99.7	-1.8	100.4	-2.2
9月	0.44	0.43	1,007	4.2	97.8	-4.1	100.0	-1.8	100.4	-2.2
10月	0.43	0.43	1,003	4.9	96.9	-4.9	99.6	-2.2	100.0	-2.5
11月	0.42	0.43	1,003	5.0	97.7	-3.1	99.1	-2.2	99.8	-1.9
12月	0.41	0.43	1,005	5.0	97.3	-3.9	99.0	-2.0	99.6	-1.7
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	99.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.5	-0.9	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.6	-0.3	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.7	-0.8	99.2	-0.9
8月							99.4	-0.3		
9月										
10月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	地域別倒産件数				
	指数	前年比	(各期末)	前年比		件数	金額	神戸	阪神	播磨他
		%	(億円)	%	(年%)	(件)	(億円)	(件)	(件)	(件)
21年 1月	105.5	-0.2	152,735	-1.0	1.824	59	78	18	18	23
2月	105.0	-1.1	152,526	-0.8	1.795	67	181	20	26	21
3月	104.3	-2.2	155,403	-1.8	1.776	74	326	29	16	29
4月	103.6	-3.8	153,829	-0.8	1.756	68	146	28	16	24
5月	103.0	-5.4	154,526	-1.4	1.746	67	132	21	16	30
6月	102.6	-6.6	153,000	-1.5	1.703	61	245	18	13	30
7月	102.9	-8.5	153,523	-1.0	1.697	55	164	13	15	27
8月	102.9	-8.5	152,439	0.1	1.694	65	119	27	21	17
9月	103.0	-7.9	153,641	2.3	1.680	51	130	18	21	12
10月	102.2	-6.7	153,086	2.1	1.680	61	140	22	15	24
11月	102.2	-4.9	152,173	0.8	1.674	56	131	17	21	18
12月	102.2	-3.9	153,743	0.2	1.655	67	69	28	24	15
22年 1月	102.4	-2.1	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.5	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	r 102.8	-0.1	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	p 102.8	0.0				53	87	20	14	19
9月										
10月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値